

東京都無形民俗文化財指定

太々神楽公演

今年一月六日(土)から九日間、羽村市生涯学習センターゆとろぎにおいて、「御嶽神楽展」が催されました。最終日十四日(日)には、大ホールにて「天空の御嶽神楽」と称し、浦安の舞・太々神楽四座が公演され、会場を埋め尽くすお客様には大変喜んでいただきました。



公演風景

展示室にて、神楽装束などを展示

※太々神楽は神前で奏上され、神様をお慰めし、また共に楽しむものです。最上の参拝方法で、申し込まなければ見ることは出来ません。今回は舞台上に御神号を掛け、神前として皆様にご覧頂きました。

式年大祭記念事業 高額寄付者芳名碑

平成二十九年に行われ、大祭では多くの皆様のご厚情により記念事業も行われ、無事盛大に斎行することが出来ました。衷心より感謝申し上げます。また、高額の附者芳名碑が平成二十九年十一月八日秋季大祭に併せ竣工をされましたことをご報告いたします。



修行体験講座

十二年毎の式年大祭、霊山御嶽山の御稜威みいづもより深くなる年を迎え、「再生」「誕生」「転生」を強く感じていただける事と思います。神道行法は、己と向き合い、強靱な精神を養うだけでなく、心身に癒され新たな自分と出会う機会となるでしょう。是非ご参加下さい。また、十名以上のグループや研修会等での修行体験を受付いたしますので、ご希望の方は社務所にご連絡ください。
※今年度の一泊二日・修行体験講座は都合により行いませんので、悪しからずご了承ください。

滝行体験講座

- ① 日時 六月二十四日(日) 午後一時集合
 - ② 日時 七月十七日(月) 午後一時集合
- 一日修行体験講座
 日時 九月二十四日(日)
 開催人員 三十名まで
 費用 一万円(申込金・五千円)

日の出祭

5月7日 宵宮 午後8時
 5月8日 本祭・行列出発 午前10時
 供奉料 三千元・五千元・一万元以上

本年は本神輿の渡御がございます。
 ※詳しくは神社へお問い合わせ下さい。



敬神奉賛員募集のご案内

今年に入り当社では、敬神奉賛員の募集を開始いたしました。左記の趣旨にご賛同いただき、ご入会下さいませようご案内申し上げます。

趣旨

敬神奉賛員は、御嶽大神の御神徳を敬う皆様が平穩無事に暮らせませよう、皆様の心の拠りどころとして、また武蔵御嶽神社の更なる護持発展を目的に創設いたしました。

奉賛員の皆様方には、ご健康ご多幸を御嶽大神にお祈りし、当社の各祭典・行事等のご案内をする他、様々な特典が用意されております。

いかなる時も御嶽大神のご加護のもと、皆様がお心豊かに楽しく過ごせませよう、心より祈念致しております。

特典

- 一、入会されますと、ご神前に入会の報告を行い、奉賛員台帳に登録し、奉賛員証を交付します。
- 一、ご神前に奉賛員名簿を添え、家内安全・健康・長寿・家運繁栄をご祈願します。
- 一、大祭日を除き、ご参拝の折に奉賛員証を呈示いただければ、随時ご本人のみ昇殿のうえ修祓・玉串拝礼が出来ます。
- 一、ご本人のみ奉賛員証を呈示いただければ、宝物殿開館日に無料拝観が出来ます。
- 一、六月末の「夏越しの祓い」には形代をお送りします。
- 一、年二回発行する「武州みたけ」を贈呈いたします。
- 一、新年を迎えるための御神札・年間行事日程等、お送りします。
- 一、当社の各祭典・行事等（節分祭・日の出祭）をご案内します。

※詳しくは、社務所までご連絡下さい。

- 宝物殿 - で特別展を開催 『近世 御師の活躍とおいぬ様』展

本殿前に座する青銅製のお犬様は、文化四年に奉納されたと伝わっています。江戸時代に造られたとは思えないほどデフォルメされた、現代のお姿です。古くは、お犬様を信仰する人々が奉納した木像のお犬様だったと云われています。元禄時代の造営以降、山頂という厳しい環境の為、社殿は何度も大破してしまいます。同時に木像のお犬様も壊れてしまったのかもしれない。そこで、木像のお犬様から鑄型を取り、永久に残すため青銅で造り納めたいと思われています。

最近、台座に残る銘文から、文化四年より二四年も古い天明三年に奉納されたことがわかってきました。奉納者は後に大宮司となった金井権頭郡明です。病身のため、大宮司の任期はわずか四年でした。天明という、天明二年から数年間続いた東北から関東地方を中心にした天明の大飢饉が思い浮かびます。冷雨、地震、噴火によって大凶作になり、餓死者、病死者が続出



したと云われています。そんな深刻な状況の中、永代に残るおいぬ様を奉納した背景には、人間に降りかかる最悪な災いを防いでほしいという想いと深い信仰があったのではないのでしょうか。この青銅製のお犬様は、山上から世の中が平穩になることを願ってにちがいがありません。

今回の展示は、おいぬ様信仰とその信仰を促した御師たちの活動についてご紹介いたします。人々の暮らしの中にある心の拠り所として御岳山は存在し、それを支え続けている御師たちがいます。

日本から消えつつある御師が、現在も活発に活動し続ける御岳山の永い歴史とおいぬ様とのかわりに触れてみて下さい。

境内整備等費用の御奉賛のお願い

当社は、古来より関東の霊山として広く知られ、時の権力者から庶民に至るまで人々の心の拠り所として親しまれてまいりました。永い歴史の中栄枯盛衰こそあれ、江戸期には二度の公儀普請が行われるなど幕府からの篤い信仰を得て、また江戸中期頃からは庶民の御嶽詣でが盛んになり、その信仰は今なお続いております。

しかし山頂に鎮座する神社のため、今まで幾多の天災地変の影響を受け、また老朽化による補修など様々な修復が行われて参りました。

今後も広大な境内の整備は必要不可欠であり、皆様に気持ちよくご参拝いただけるよう毎年少しずつ補修・整備を進めて参りたいと考えております。つきましては、本趣旨に深いご理解とご賛同を賜り、皆様方の心からの御奉賛を仰ぎたくお願い申し上げます。

境内地整備の一環として「灯笼」ご奉納受付を開始します。

※詳しくは、社務所にお問合せ下さい。

